



1

「風の画家」と称される画家・中島潔。1943（昭和18）年中国東北部（旧満洲）に生まれ、佐賀県で育った中島は、18歳のとき母親の死を機に上京。アートディレクターとして活躍した後、1976（昭和51）年に独立、本格的に画家としての活動を始めた。1982（昭和57）年にはNHKの子ども番組「みんなのうた」のイメージ画が大反響をよび、東京の百貨店で初めての個展を開くに至ります。その後30年以上にわたって描かれてきた、岩絵具や顔彩、水彩絵具による、優しく温かで、どこか懐かしさを感じさせる、子どもたちや儂げな女性の姿を描いた作品は、幅広い世代から高い人気を誇っています。小杉放菴記念日光美術館では、中島潔が自身の大病と東日本大震災を経て制作した新作「新しい風」シリーズをはじめ、これまであまり出品される機会がなかった、1970年代後半から手がけてきた児童画や絵本の挿絵原画もあわせ、その画業をご紹介します。



5



2



3



4

【会期中の催し物】

- \* 中島潔による  
ギャラリー・トーク & サイン会  
7月24日（日）、8月20日（土）  
ギャラリー・トーク  
午前10時  
※入館券をお求めのうえ、美術館受付前にお集まりください。
- ◎ サイン会  
午前11時～12時30分  
※会場で販売の図録・書籍・版画をご購入の方先着100名まで。  
（要入館券）。
- ※当日開館後、右記商品ご購入の方に整理券を配付します。  
※時間はギャラリー・トークの進行状況により多少前後する場合があります。
- \* 担当学芸員による  
ギャラリー・トーク  
7月18日（月祝）、9月4日（日）  
午前11時～（1時間程度）

中島潔 新しい風

THE EXHIBITION OF KIYOSHI NAKASHIMA

- 1 《水辺の春》2013年
- 2 《木とんぼ》2013年
- 3 《早春の香り》2011年
- 4 《ふるさとの夏》2011年
- 5 《新しい風》2011年
- 6 《里の実り》2013年

Copyright © 中島 潔 All Rights Reserved.



6



◎電車＝東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾・中禅寺・湯元・西参道（東照宮）方面行きバス5分。神橋停留所下車徒歩3分  
◎車＝日光宇都宮道路・日光インターから約2km  
◎駐車場＝併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。

小杉放菴記念日光美術館  
〒321-1431 栃木県日光市山内 2388-3  
Tel.0288-50-1200 http://www.khmoan.jp

\*ワークショップ 日本画体験講座  
「叩いて！漉す！和紙を作る」  
講師||中村寿生氏（文筆芸術大学アート専攻日本画准教授）  
日時||8月6日（土）午前9時30分～12時30分  
対象||小学1年生から一般。小学3年生以下は保護者同伴。先着15名まで。  
会場||美術館体験実習室ほか  
参加方法||美術館まで電話でお申し込みください。  
参加費||720円 展覧会も観覧できます。

\*ミュージアム・コンサート  
大人と子どもで楽しむ絵と音楽  
出演||宮地ゆみ氏 + 佐藤由弥子氏（合唱指導者）  
日光少年少女合唱団  
日時||8月27日（土）午前10時～12時  
会場||美術館エントランスホール  
参加方法||入館料のみでご参加いただけます。  
高校生以下無料。先着80名まで。自由席。



平成22年春、清水寺成就院の襖絵を描き上げました。それまでの人生を襖絵に込め奉納し終えた時、私の気持ちは解き放たれました。無色の心で見つめると、景色が、人が、生き物が、自然と動き出したのです。初めて絵筆を持った子供のように、無心で描きました。その年の夏、病気が見つかり手術をしました。病室の窓から空に浮かぶ夏の雲や夕焼けを眺めていて、自然はすごいと思います。雲は常に動いていて、夕焼けの後には明日がやってきます。留まっていたのはただと気持ちを切り替えました。

私は今、自分がもう一歩前に進めるのではないかと、という予感がしています。自分自身、描く楽しさを新鮮に感じながら描いた新作です。皆様の心にも一陣の新しい風が届きますように。  
2016年  
中島 潔